

資料1

令和7年度 第3回川越市オーバーツーリズム対策懇談会

---

# 川越市オーバーツーリズム対策事業

令和8年3月26日

川越市 広報室  
産業観光部 観光課  
都市計画部 都市計画課、都市景観課、交通政策課  
建設部 道路街路課

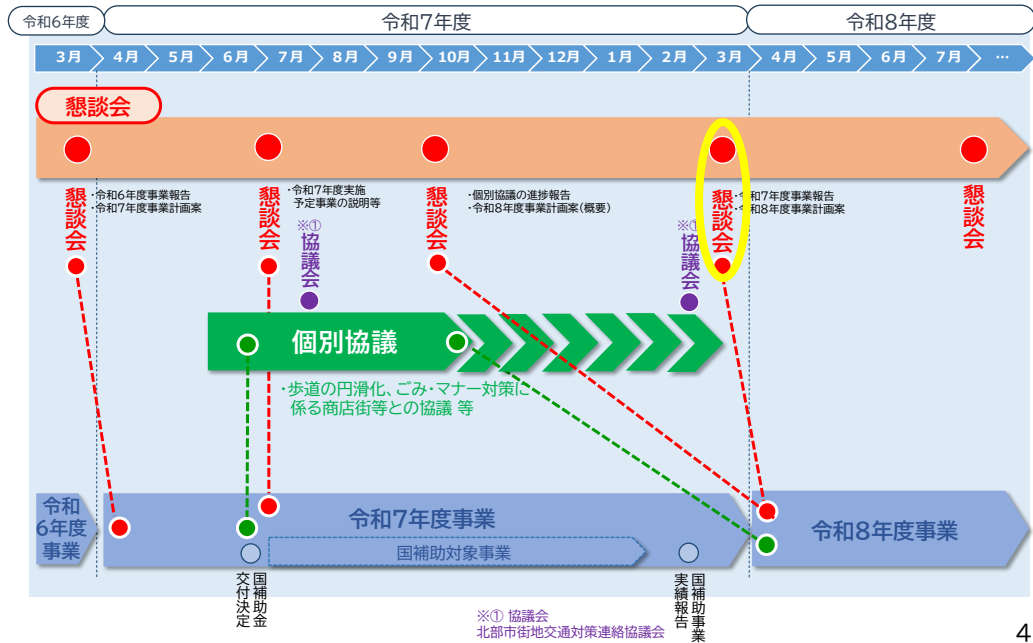
## 報告事項(1) 令和7年度の取組みについて

---

# 報告事項(1)-① 令和7年度オーバーツーリズム対策 実施事業について

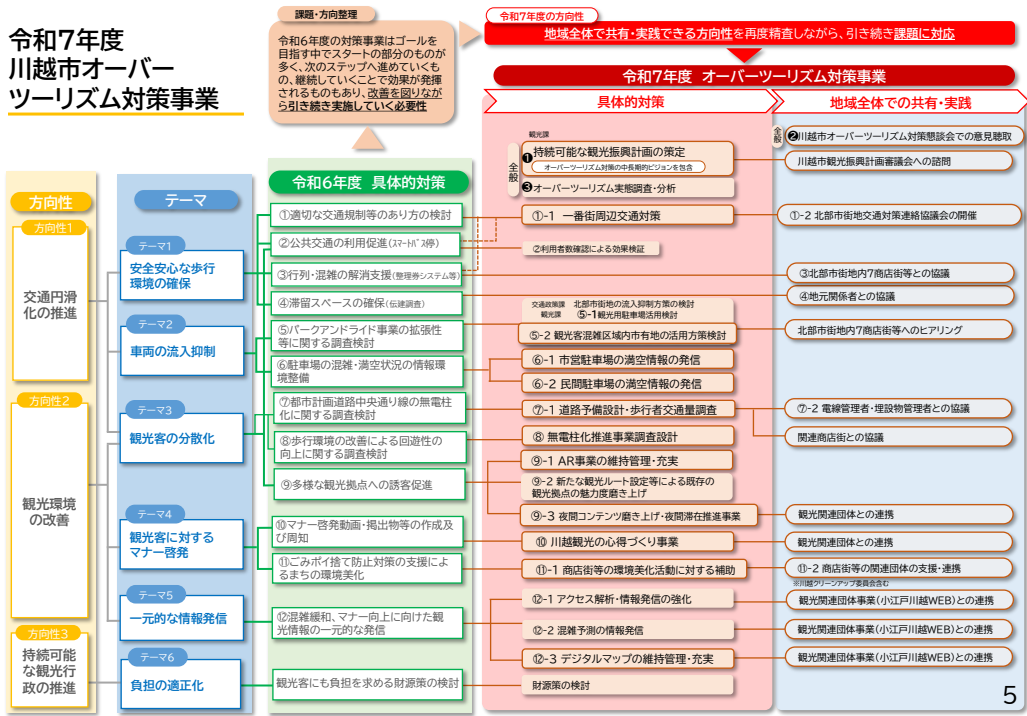
3

## 報告事項 1 : 令和7年度の取組みについて (スケジュール)

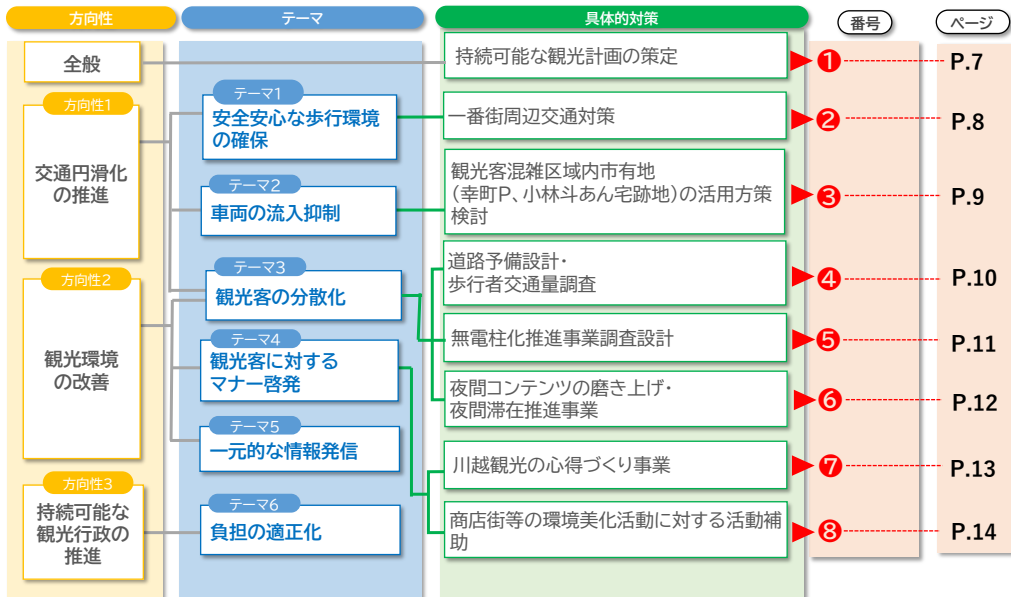


4

# 令和7年度 川越市オーバー ツーリズム対策事業



## 事業の方向性、テーマ、国補助金を活用して実施した具体的対策



## 具体的対策

1

【方向性】全般

【具体的対策】持続可能な観光計画の策定

担当課：観光課

【R7年度予算】  
5,064,000円

## R7年度取組み

KPI: 持続可能な観光振興計画の策定進捗率  
 目標値: 計画策定100%  
 達成状況: 策定完了(100%達成)

令和7年度末で現計画が期間満了を迎えることから、持続可能な観光地域づくりを推進していくため、日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)への準拠及び本市のオーバーツーリズム対策を踏まえ、今後5年間の計画を策定した。

策定にあたり、学識経験者及び関係団体の代表者・公募市民で構成された当計画の策定に係る審議会を4回開催し、様々な関係者の意見を取り入れながら、計画の策定を進めた。

【策定経過】

- ・5月22日 第1回審議会
- ・7月30日 審議会委員による意見交換会
- ・8月18日 第2回審議会
- ・10月23日 第3回審議会
- ・11月26日～12月25日  
パブリックコメント(意見公募)
- ・1月13日 第4回審議会
- ・1月22日 市長への答申
- ・2月13日 計画書冊子完成

## 目指す効果

住民の生活環境の維持・向上を図りつつ、持続可能で快適な観光地の形成に繋がる。

【参考】  
第三次川越市観光振興計画



## R8年度取組み予定

本計画の推進に向けて、各施策の進捗状況を管理し、毎年度施策の効果検証・評価を実施する。

## 目指す姿

市と各主体の役割を明確にし、データ分析を基にした計画策定を図ることにより、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観光地域づくりを実現する。

7

## 具体的対策

2

【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ1】安全安心な歩行環境の確保

【具体的対策】一番街周辺交通対策

担当課：交通政策課

【R7年度予算】  
22,977,000円

## R7年度取組み

KPI: 観光客の交通手段に占める自家用車・レンタカーの割合  
 目標値: ①40%以下(令和7年度)  
 ②36%以下(令和11年度)  
 達成状況: ①3/26時点で非公開(現在公開準備中)

令和6年度に行った「適切な交通規制のあり方検討」の成果を受け、以下のとおり一番街において歩行者天国を試行的に実施し、交通量調査やアンケート調査を行うことで交通規制の影響や効果を検証した。また、当該検証結果をもとに今後の北部市街地交通対策について検討・協議を行った。

(実施内容)

歩行者用道路(歩行者天国)

(実施範囲)

一番街(札の辻交差点～仲町交差点)

(実施期間)

春季: 5月3日(土・祝)～5日(月・祝)

秋季: 11月1日(土)～3日(月・祝)

いずれも午前11時から午後5時まで

## 目指す効果

交通規制の影響や効果を検証し、地域の負担に配慮した安全安心な歩行環境に向け必要な対応を検討できる。



## R8年度取組み予定

北部市街地交通対策

・概ね5年間で、抜本的対策(①車両の流入抑制、②交通円滑化対応、③道路環境の整備、④観光客の交通マナー向上や行列対応、⑤観光客の分散化、⑥観光客への負担の適正化)に取り組む。

・上記対策に取り組む間、観光客が集中する5月と11月の連休に、緊急的な安全対策として歩行者天国を実施する。

## 目指す姿

地域の生活環境を保全しつつ、安全安心に過ごすることができる持続可能な交通環境の形成

8

具体的対策

【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ2】車両の流入抑制

担当課：観光課

3

【具体的対策】

【R7年度予算】

観光客混雑区域内市有地(幸町P、小林斗あん宅跡地)の活用方策検討

9,438,000円

R7年度取組み

KPI:指標:観光客混雑区域内市有地活用方針の策定状況  
 目標値:年度内目標値:30%＝素案作成  
 達成状況:素案作成:30%(100%達成)

車両の流入抑制を目的とした令和6年度オーバーツーリズム事業である「パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討」では、幸町駐車場について、一番街への車両流入抑制のため、駐車場以外の活用方策について検討を進める必要があるとの提言があった。また、小林斗あん宅跡地は平成22年7月に観光用拡張用地として購入したものの、大部分が未活用となっている。このため、2ヶ所の市有地について、オーバーツーリズムの課題解決に向けた活用方策の検討を行い、市有地活用基本方針(素案)を作成した。

【事業スケジュール】

- ・10月 地域住民及び商店街に向けたアンケート調査
- ・12月 川越町並み委員会からの意見収集
- ・12月～
- ・1月 サウンディング調査(民間事業者意向調査)
- ・1月 市有地活用基本方針(素案)作成

目指す効果

オーバーツーリズムが発生している区域の市有地の活用方針を策定し、実施することでオーバーツーリズムの緩和に貢献。観光客・市民生活の満足度が向上する。



R8年度取組み予定

- ・観光客混雑区域内市有地活用方針策定に向けた業務の実施。
- ・庁内及び地域住民・事業者との調整

目指す姿

観光客混雑区域内市有地が、歴史的な街並みなどの地域資源・環境を活かし、一番街の両端で、特性を活かした「回遊の拠点」を形成する。

9

具体的対策

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ3】観光客の分散化

担当課：都市計画課

4

【具体的対策】道路予備設計・歩行者交通量調査

【R7年度予算】

道路予備設計・歩行者交通量調査

6,250,000円

R7年度取組み

KPI:無電柱化設計の進捗率  
 目標値:50%(年度内)  
 達成状況:50%(100%達成)

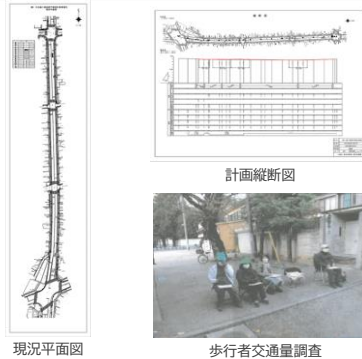
無電柱化実施に向けて、道路予備設計により道路構造を決定するとともに、現況交通量を把握しオーバーツーリズム対策事業の効果を検証するため、歩行者交通量調査を実施した。

【実施状況】  
(道路予備設計)

- ・10月～11月 現地補測、現況図面作成
- ・12月～2月 縦横断設計、設計図及び協議資料作成、概算工事費算出

(歩行者交通量調査)

- ・11月23日(水)、27日(日) 歩行者交通量調査実施



R8年度取組み予定

- 中央通り線電線共同溝検討
- 道路・電線・埋設物等管理者協議

目指す姿

無電柱化実施により、歩行環境を改善することで、回遊性の向上・一番街における観光客の分散化を図る。

10

具体的対策

5

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ3】観光客の分散化  
【具体的対策】無電柱化推進事業調査設計

担当課：道路街路課

【R7年度予算】  
6,000,000円

R7年度取組み

KPI : 川越市無電柱化推進計画の策定進捗率  
目標値 : 60% = 計画案作成(年度内)  
達成状況: 60%(年度内目標100%達成)

- ・回遊性向上のためのルート選択
- ・ネットワーク化の検討
- ・具体的な整備手法の検討(無電柱化、道路の美化等)
- ・整備優先順位の検討
- ・概算事業費の検討
- ・川越市無電柱化推進計画案の作成

歴史的地区環境整備街路事業地区(約130ha)において、観光客回遊性向上のためのルート選択、ネットワーク化、具体的な整備手法、概算事業費の検討を行った。

あわせて、無電柱化の推進に関する法律第8条第2項に基づいた川越市無電柱化推進計画の策定に向け、オーバーツーリズム対策及び川越市全体として活用できる計画案の作成を行った。



(整備前)



(整備後)

無電柱化の推進 (イメージ)

R8年度取組み予定

川越市無電柱化推進計画の策定・公表に向け、関係各課との調整等、必要な手続きを適切に実施する。

目指す効果

川越市無電柱化推進計画の策定により、計画的に対象路線の整備を推進する。

目指す姿

無電柱化の整備により、快適な観光地の形成を図る。

11

具体的対策

6

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ3】観光客の分散化  
【具体的対策】夜間コンテンツの磨き上げ・夜間滞在推進事業

担当：小江戸川越観光協会

【R7年度予算】  
2,727,273円

R7年度取組み

KPI: 来訪時間を昼から夜に変更した観光客の割合  
目標値: 5%~10%  
達成状況: 9.5%(達成)

夜間イベントを実施することで夜の人流を創出・分散し、あわせて「夜の川越」の魅力発信・ブランディングする事業を実施。

【実施内容】

- ①「夜の川越」の魅力発信するプロモーション「夜の川越イメージ」の醸成。
- ②夜間音楽イベント「KAWAGOE REMIX」(10月・蓮馨寺)の実施。夜間の滞在動機の創出と来訪促進。
- ③「mini remix」(9月・11月・りそなコエドテラス)を開催。継続的に夜のにぎわいを創出する小規模・分散型イベントを展開。
- ④「kawagoe & Shingashi 宵machiバル」を実施、夜間の広域回遊と人流分散を促進。

【スケジュール】

- ・6月~8月: 関連事業者と協議。取組方針確認・事業詳細の検討
- ・9月: ①特設HP・印刷物作成 ③第1回mini remix(小規模音楽イベント)実施
- ・10月: ②夜間音楽イベント「KAWAGOE REMIX」実施
- ・11月: ③第2回mini remix(小規模音楽イベント)実施
- ④広域周遊街バル「kawagoe & Shingashi 宵machiバル」を実施

◎夜のイベント参加者アンケート アンケート総数273件

○当初の来訪予定時刻は？

午前中	31
正午~16時	21
16時~18時	78
18時以降	65
他に決めていなかった	92

○実際の到着時刻は？

午前中	64
正午~16時	40
16時~18時	94
18時以降	75

26人純増



Mini remix  
R7.11.20

R8年度取組み予定

- ・「宵machiバル」事業: 開催エリアの拡大や他事業とのコラボレーションを進め、より多くの商店街や事業者を巻き込む地域一体の取組へと発展させる
- ・広報・プロモーション: 早期から計画的に展開できるスケジュールを構築し、SNSや交通広告などを使い、ターゲット層に対して能動的にアプローチする

目指す効果

魅力的な夜のイベントを開催し、観光客の訪問時間の時間的分散化を図る

目指す姿

観光客が昼間の観光にとどまらず、夜のまち歩きや文化的体験を通して、川越の多面的な魅力を感じられる「滞在型観光地」としての姿を確立する。

12

## 具体的対策

7

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ4】観光客に対するマナー啓発

【具体的対策】「川越観光のころえ」づくり事業

担当：DMO川越

【R7年度予算】  
3,996,300円

## R7年度取組み

KPI:川越観光のころえ賛同宣言者数

目標値: 30件

達成状況:106件(「わたしのころえ」宣言者数(2月10日時点))  
(100%超 達成)

## (1)「川越観光のころえ」を考えるワークショップ(WS)の開催

- ① WS1(補助事業対象外):7/17(木)市立川越高校=42名。
- ② WS2:8/17(日)蓮馨寺 講堂=17名。
- ③ WS3:9/19(金)ウェスタ川越 会議室1・2=16名。
- ④ WG4(観光戦略会議メンバーによるワーキング):11/6(木)・10(月)・11(火)DMO川越=延べ17名。(上記スタッフ等は含まず)

## (2)アンケート実施、「川越観光のころえ」への賛同・宣言の募集

- ①「地元事業者・住民向けアンケート」「来訪者向けまちかどアンケート」「来訪者向けwebアンケート」を実施。これらのワークショップやアンケート等を通して、「川越観光のころえ」を策定するとともに、「ころえ」への賛同・宣言を募った。

②実績数は以下。(2/10の報告提出時点)

- ・「みんなのころえ」の賛同数=122件
- ・「わたしのころえ」の宣言数=106件
- ・事業者デジタルポスター数=13件

## (3)公式ウェブサイトや啓発物の制作

- ・ワークショップやワーキング等を通して、地元事業者や住民、大学生等と意見交換をおこないながら、公式ウェブサイトや啓発物を制作。



WS2:8/17(日)蓮馨寺講堂にて



11/30(日)来訪者向けまちかどアンケート



デジタルポスターの一例。「わたしのころえ」として自身が取り組めることを宣言した事業者に対し、それを表現する写真も提供してもらい視覚化した。

## R8年度取組み予定

- ・「川越観光のころえ」の普及啓発、賛同者の拡大、「わたしのころえ」の宣言募集。(継続)



「川越観光のころえ」を広く一般に認知してもらうためのロゴをデザイン。

## 目指す効果

来訪者、地元事業者、地域住民の相互理解が進み、観光マナー、おもてなし意欲の好循環が起きる。

## 目指す姿

川越観光に対する満足度の向上や「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」の持続可能な観光都市が実現する。

13

## 具体的対策

8

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ4】観光客に対するマナー啓発

【具体的対策】商店街等の環境美化活動に対する補助

担当課：観光課

【R7年度予算】  
1,000,000円

## R7年度取組み

KPI:①環境美化活動補助の補助事業者数  
②①のうち、次年度以降に事業を継続する事業者数  
目標値:①10件  
②100%  
達成状況:①3件(30%達成)  
②次年度の取り組みとなるため現時点で進捗無し

ごみポイ捨て防止対策に関連する事業を実施する際の費用を一部補助し、まちの環境美化を図る。

## ・川越クリーンアップ委員会の環境美化活動

2月23日に多くの事業者・ボランティアを巻き込んだ清掃活動及びごみ組成調査を実施。事業者のほか青年会議所、観光協会、DMO、商店のファンなど50名以上が参加した。

## ・ごみ持ち帰り啓発

令和8年2月に、川越一番街商店街等において、来訪者にごみの持ち帰り用のごみ袋を配布。

店舗には、ポップやポスターを掲示し、ごみのポイ捨て防止を呼び掛けた。



## R8年度取組み予定

- ・各団体が環境美化に関する活動を継続して実施できるよう、ボランティアの募集や周知等の協力を行っていく。
- ・川越クリーンアップ委員会への活動支援継続清掃活動を発展させていく。



## 目指す効果

商店街等による環境美化活動が活発に行われるようになることで、地域一体となった観光地域づくりの実現を図る。

## 目指す姿

まちの環境美化活動により、地元住民・来訪者双方の満足度が向上する。

14

## 補助金活用事業以外の主な継続事業 令和7年度取組み

担当課：観光課

## テーマ3 観光客の分散化

## 【AR冒険ツアーデジタルスタンプラリー維持管理】

- ・定期的なSNS投稿による周知を行っていたが、利用者が減少していたため、缶バッチのノベルティ配布を11月に開始
- ・11月初旬の3連休に、鍛冶町広場及び各観光案内所でチラシを配布し、中心市街地からの分散化を図った
- ・取組の結果、アクティブユーザー数が大幅に伸び、一定の効果を確認できたため、引き続き利用促進のPRを実施

## テーマ4 観光客に対するマナー啓発

## 【観光客に対するマナー啓発】

- ・日本語と英語による定期的なSNS投稿による啓発
- ・令和6年度に作成したポスター等の啓発グッズを、市内宿泊施設や主要駅等に配布し、掲示を依頼
- ・令和6年度に作成したマナー啓発動画をアトレ川越1階・7階のデジタルサイネージで放映

## テーマ5 一元的な情報発信

## 【小江戸川越観光デジタルマップ維持管理】

- ・R7.4.1～R8.3.13までのPV数123,269回、1か月平均PV数約11,200回。定期的なSNS投稿による周知
- ・旬なスポットのカテゴリーを追加。毎月1回、四季折々の旬なスポットを紹介し、マップの魅力向上を図る
- ・使い方を紹介するショート動画を作成し、市公式Instagram、YouTube、公益社団法人小江戸川越観光協会Instagram、観光案内所Instagramで投稿。合計9,715PV(R8.3.9時点)

## 【駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備】

- ・市営観光用駐車場における満空情報システムの稼働及びデジタルマップにおけるリアルタイム表示を継続実施
- ・中心市街地の車両混雑を分散させるため、中心市街地を除いた周辺の民間有料駐車場をデジタルマップに追加

## テーマ6 負担の適正化

## 【新たな財源確保】

- ・新たな財源確保に係る庁内検討会議の開催
- 【議題】：法定外税の導入に係る今後の進め方について

15

## 報告事項(1)-②

### 川越クリーンアップ委員会清掃活動

16

## 取組事例 1 : 川越クリーンアップ委員会清掃活動

### 実施概要

1. 日時 令和8年2月23日(月・祝) 19:00~20:30
2. 活動範囲 札の辻交差点~本川越駅周辺
3. 活動内容
  - (1)集合解散:鍛冶町広場(スマートごみ箱前)
  - (2)活動内容
    - ①活動範囲内を巡回し、ごみを収集  
(北・南の2ルートに分けて、清掃活動を実施)
    - ②ごみ組成調査 (可燃ごみ、ビン・缶・ペットボトル、その他)
4. 参加呼びかけ
  - (1)クリーンアップ委員会所属商店街、(2)川越中央商店振興会
  - (3)川越新富町商店街振興組合、(4)川越蔵の会、(5)川越青年会議所
  - (6)小江戸川越観光協会、(7)DMO川越、(8)ボランティアの学生

17

## 取組事例 1 : 川越クリーンアップ委員会清掃活動

### 実施概要

#### 5. 手ぬぐい着用



清掃活動の参加者向けにクリーンアップ委員会オリジナル手ぬぐいを制作し、当日配布。参加者は着用しながら行動した。

18

## 取組事例 1 : 川越クリーンアップ委員会清掃活動

### 取組の成果

参加人数 53人

北ルート



札の辻～県道川越・日高線  
一番街周辺で多かったごみ

- ・飲み残しのある容器  
(プラカップ、ペットボトル)
- ・串類

11袋 200L程度

南ルート



県道川越・日高線～本川越駅周辺  
本川越駅周辺で多かったごみ

- ・たばこの吸いながら
- ・菓子、たばこのパッケージ

7袋 120L程度

19

## 取組事例 1 : 川越クリーンアップ委員会清掃活動

### 今後、目指すべき姿



・スマートごみ箱設置や今回の清掃活動はきっかけであり、本来の目的は、地域全体の意識改革である。

・活動を通じて、人と人がつながることにより、当事者として個人や事業者の意識が変わり、互いにこの地域で営み、生きていることを自覚・再認識できた。商店街が横断的に動き始めたことも大きな成果であった。

・活動の輪を広げるなかで、川越のまち全体の環境向上を目指したい。

20

## 報告事項(1)-③ 懇談会出欠確認時における 事前アンケート結果の紹介(令和7年度)

21

事前アンケート結果の紹介  
「令和7年度に実施した取組み」についての回答

### 川越一番街商業協同組合

【R7】クリーンアップ委員会のごみ拾いに参加、携帯ゴミ袋の配布、各種メディアへの啓発、商店街内でのマナー啓発、川越市内各種団体への対外的対応のお願い(ガイドライン)送付

### 川越菓子屋横丁会

【R7】「ゴミをひきとります」のプレートをつくり、各店舗へ配布しました。

### 仲町商店街

【R7】クリーンアップ委員会が実施する地域清掃活動(ごみ拾い)への参加  
地域美化およびマナー向上を目的とした啓発活動への協力

### イーグルバス株式会社

【R7】小江戸巡回バスの車内、ホームページにて、川越市作成のマナー動画を掲載しています。

また社長の谷島が事務局長を務めている「英語の通じる街川越」において、ゴミ袋での持ち帰りや清掃活動を行っています。

22

## 事前アンケート結果の紹介

「令和7年度に実施した取組み」についての回答

## 公益社団法人 小江戸川越観光協会

## 【R7】

- ① 夜間観光推進事業  
(夜間イベントの実施・夜の観光プロモーションによる来訪時間の分散)
- ② 「宵machiバル」実施による中心市街地から新河岸エリアへの来訪分散促進
- ③ 夜の川越ブランド構築に向けたHP・SNS等による情報発信強化
- ④ 音楽イベント(KAWAGOE REMIX・MINI REMIX)の開催による夜間滞在の創出
- ⑤ 来訪者アンケートの実施による来訪時間・回遊行動の把握および効果検証

## 株式会社まちづくり川越

【R7】 観光案内所(川越駅・本川越駅・仲町)にて、観光客向けに持ち帰り用ゴミ袋(不織布製・ビニール袋内包・再利用可能)を約300枚作成・配布。アンケート調査では約74%が「持ち帰りに使用」と回答し、満足度は約86%。「デザインがかわいく持ち歩きやすい」「エコバッグとして再利用できる」「サイズが良い」等、好評を得た。

23

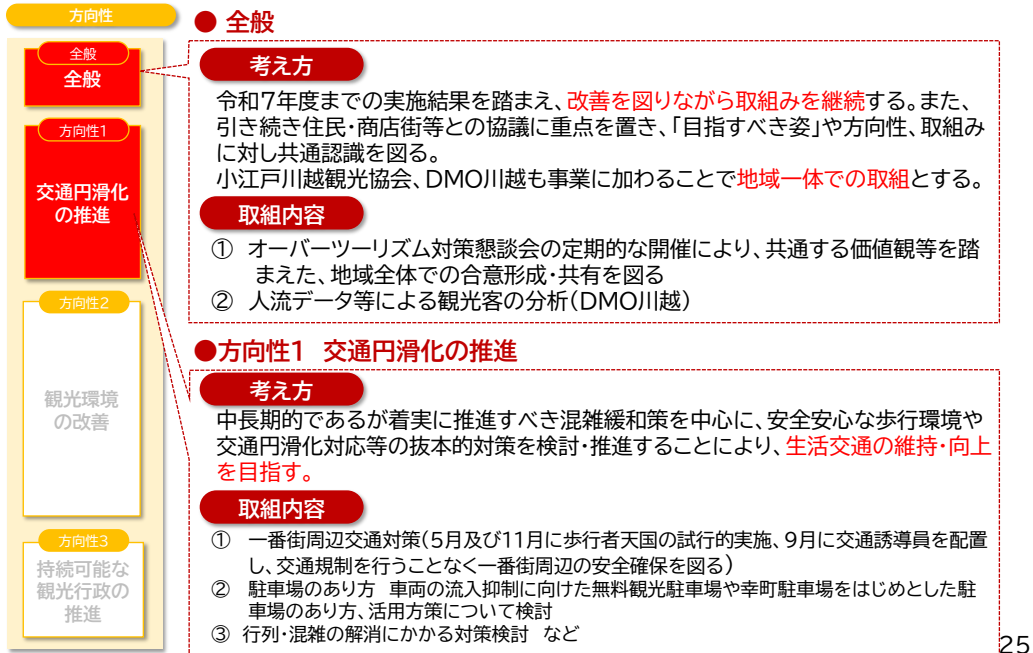
## 議題(1)

### 令和8年度オーバーツーリズム対策 実施事業について

---

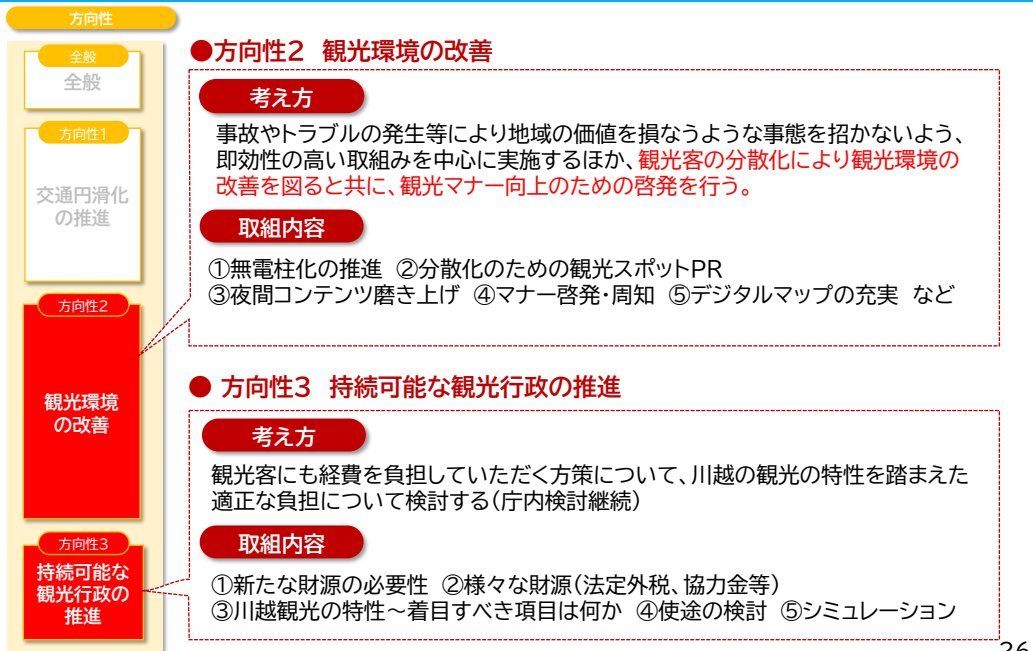
24

## 令和8年度の取組みの考え方・主な内容



25

## 令和8年度の取組みの考え方・主な内容



26





## 具体的対策

2

【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ1】安全安心な歩行環境の確保  
 【具体的対策】行列・混雑の解消にかかる対策検討

担当課：観光課

【R8年度予算】  
7,500,000円

## これまでの取組内容

令和6年度に、行列・混雑の解消支援策として「整理券システム」の導入支援、マナー啓発を実施した。  
 令和7年度は、地域等との懇談会の場を活用し、マナー啓発及び混雑緩和に向けた話し合いを行った。

## R8年度事業予定

地域との話し合いの中で、整理券システムは初期費用等のハードルも高く、導入が困難であるとの意見があった。また、マナー啓発は継続する必要があるものの、都度対応でなく、根本的な行列・混雑の解消に向け、新たな具体的対策を見出す必要があるとの意見があった。  
 そのため、案内誘導を伴う実態調査の実施により、混雑・行列の発生原因を分析し、現状把握を行うとともに、地域との適切な合意形成を経て効果的な混雑対策を実施する。

## 【スケジュール】

- ・ 7月 業者選考
- ・ 8月～11月 実態調査 観光客の移動特性の把握等  
現地の混雑発生原因の分析
- ・ 12月 実施報告



## 令和8年度事業実施による効果

・今年度地域との合意のもとに作成する具体的対策を令和9年度以降地域に展開することにより、行列・混雑の解消を目指す。

31

## 具体的対策

3

【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ1】安全安心な歩行環境の確保  
 【具体的対策】休憩スポットマップ作成

担当課：観光課

【R8年度予算】  
550,000円

## これまでの取組内容

行列対策のため、令和6年度に整理券システム等を導入するための補助事業を実施したが、なかなか効果が見られない結果となり、対策に苦慮している。

## R8年度事業予定

行列発生の様子を観察すると、店頭でテイクアウト商品を購入した方が、そのまま店頭で飲食することによって歩行者や車両の通行を妨げている様子が見受けられた。そのため、滞留(休憩)スペースを広く周知することで、道路空間の混雑を解消することを目的に、公共施設等の「休憩スポットマップ」を作成し、店頭で観光客に配布するとともにWEB上で紹介する。

## 【スケジュール】

- ・ 5月ごろ マップ制作業者の選考
- ・ 6月～7月 マップの制作・印刷、WEBでの公開
- ・ 以降随時 観光案内所、商店等での配布



## 令和8年度事業実施による効果

・マップの活用により、店頭の混雑が解消され、道路環境が改善される。  
 ・休憩場所の提供により、観光客の満足度を高めるほか、ごみのポイ捨てを防止する。

32

## 具体的対策

4

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ3】観光客の分散化  
 【具体的対策】電線共同溝検討

担当課：都市計画課

【R8年度予算】  
9,800,000円

## これまでの取組内容

令和6年度に、無電柱化概略設計により現場に適した無電柱化の整備手法を検討。令和7年度は、道路予備設計を実施し道路構造を決定するとともに、現状を把握するための歩行者交通量調査を実施した。



現在の（都）中央通り線



整備後のイメージ

## 令和8年度事業予定

○（都）中央通り線電線共同溝検討業務委託

- ・管路設計・地上機器設計・概算工事費算出
- ・関係機関との協議資料作成

【スケジュール】

- ・7月～12月 管路設計、地上機器設計、概算工事費算出
- ・1月 関係機関との協議資料作成

## 令和8年度事業実施による効果

総合的な技術検討により、最適な構造、線形、施工方法の選定を行い、無電柱化事業の進捗を図る。

33

## 具体的対策

5

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ3】観光客の分散化  
 【テーマ4】観光客に対するマナー啓発  
 【具体的対策】分散化のための観光スポットPR

担当課：観光課  
広報室

【R8年度予算】  
20,000,000円

## これまでの取組内容

令和6年度に、観光客の来訪エリアの分散化を目的として、喜多院周辺地域、川越城周辺地域（初雁公園含む）、伊佐沼等郊外地域への来訪を促すAR事業を開始した。また、同時期に運用開始したデジタルマップにより、多様な観光ルートや旬のスポットの案内を行っている。

## R8年度事業予定

本市の魅力ある多様な観光資源を紹介することで、来訪者の時間的・場所的分散化を図る。成果物には著名人等を採用することで注目度を向上させ、多様な観光ルートの紹介や旅マエのマナー啓発を盛り込む。

【成果物】

- ・パンフレット
- ・動画 YouTube等のSNSで公開
- ・電子冊子 WEBで公開 等

【スケジュール】

- ・5月 業者選定
- ・6月 企画打ち合わせ
- ・7月～12月 制作
- ・以降随時 観光案内所、本市窓口等での配布  
動画の公開



## 令和8年度事業実施による効果

・本市の豊富な観光資源の有効活用を図るとともに、本市の新たな魅力となり得る資源を発掘して磨き上げ、紹介することで観光客の回遊性が高まる。

・時間的・場所的分散化が図られ、日中の一番街周辺に観光客が一極集中する状態を緩和される。

・観光客の川越への愛着心が深まり、観光マナーが向上する。

34

## 具体的対策

6

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ3】観光客の分散化

【具体的対策】夜間コンテンツの磨き上げ・夜間滞在推進事業

担当：小江戸川越観光協会

【R8年度予算】  
5,455,000円

## これまでの取組内容

日中の観光客集中の課題に対し、音楽イベントや宵machiバル等夜のイベントを実施。情報発信と地域事業者連携により回遊促進と認知向上を図り、広域的な賑わい創出と滞在時間延長に取り組んだ。

## R8年度事業予定

○概要：令和8年度は、情報発信の強化、夜間コンテンツの継続化、ICTによる回遊促進を柱に事業を展開する。紙とデジタルのメリットを活用しながら、音楽・光・飲食を組み合わせ、夜の川越の魅力向上と滞在時間延長を図る。

○予定している7つの事業

- ① 印刷物・特設HP制作→チラシ・ポスター・特設HPで情報発信
  - ② SNSプロモーション→若年層向けSNS広告で認知拡大
  - ③ ICT回遊促進→リアルタイム店舗情報で回遊促進
  - ④ KAWAGOE REMIX→音楽イベントの中核事業として実施
  - ⑤ mini remix→定期ミニライブで継続的な賑わい創出
  - ⑥ ANDON WALK→行灯による夜景演出と街歩き促進
  - ⑦ 宵machiバル→広域連携による飲食回遊イベント
- ※①～③情報発信・ICT活用、④～⑦継続的な夜間イベントの実施

○スケジュール(予定)

- ・7月 業者選考 印刷物・HP制作
- ・8月～11月 継続的な夜のイベント開催
- ・12月以降 効果測定

○夜の川越ブランド

- 音楽(REMIX)
- 光(ANDON)+食(バル)
- 回遊(ICT)

&lt;イメージ&gt; 飲食・音楽・光



## 令和8年度予算内訳

- ①～③情報発信・ICTシステム等業務委託  
1,454千円
- ④～⑦継続的な夜間イベント実施業務委託  
4,000千円

## 令和8年度事業実施による効果

【目指す効果】

- ・夜間イベントの充実により、来訪時間の分散化を図る
- ・効果的な情報発信により、認知拡大と来訪促進を図る
- ・商店街・事業者の参画を促し、地域一体の取組へ発展させる

35

## 具体的対策

7

【方向性2】観光環境の改善 【テーマ4】観光客に対するマナー啓発

【具体的対策】観光客に対するマナー啓発

担当課：観光課

【R8年度予算】  
1,812,000円

## これまでの取組内容

令和6年度に、ピクトグラム等の活用によるインバウンド対応マナー啓発動画・掲示物を作成。令和7年度以降、市内施設・事業者等に掲示し、観光客に周知を行っている。

## R8年度事業予定

○観光マナー看板製作

市街地における外国人観光客等にむけた観光マナー及び、交通ルールなどを伝える看板の製作、設置。

【スケジュール】

- ・7月～8月 設置場所・表示内容の検討
- ・9月～12月 業者選考・看板製作
- ・12月～1月 設置

○観光文化発信動画多言語対応編集

これまでに制作した観光文化発信動画を多言語化し、受け入れ態勢を整える。作成した動画は、観光案内所の他、公共施設での掲示を行う。

【スケジュール】

- ・5月 業者選考
- ・6月～8月 多言語動画制作
- ・9月以降 随時公開



## 令和8年度事業実施による効果

【観光マナー看板製作】

一番街周辺における乱横断やゴミのポイ捨てなどの課題に対処するために、文字だけでなく直感的に理解できるピクトグラムを用いた看板を製作。これにより、観光客のマナー向上と歩行者の安全性を高めることができる。

【観光文化発信動画多言語対応動画】

外国人観光客に対して観光マナーを伝えることで、観光文化への理解促進を図ることができる。これにより、近隣住民の生活環境に配慮した外国人観光客の受け入れ態勢を高めることができる。

36

具体的対策

8

【方向性】観光環境の改善 【テーマ4】観光客に対するマナー啓発

【具体的対策】ごみポイ捨て防止対策支援補助金

担当課：観光課

【R8年度予算】  
330,000円

## これまでの取組内容

令和6年度にごみポイ捨て防止を目的にスマートゴミ箱の設置を支援し、市内に2か所のスマートゴミ箱が設置されている。

## R8年度事業予定

飲み残りのごみを流せる場所が無いため、飲み残りや氷が入ったプラスチック容器がポイ捨てされているケースが見受けられる。また、鍛冶町広場のスマートゴミ箱では、飲み残り等が入ったプラスチック容器の廃棄が多く、ごみ回収時に液体漏れが頻発しており、道路汚損にも繋がっている。また、夏季は飲み残りごみの廃棄による悪臭も発生している。

これらの課題解決のため、飲み残り専用の回収ボックスを設置する際の費用を補助し、まちの環境美化を図る。

## 【スケジュール】

- ・5月 補助金交付要綱制定
- ・6月 交付申請受付
- ・8月 設置



令和8年2月23日撮影

## 令和8年度事業実施による効果

- ・飲み残りごみを捨てる場所ができることで、ポイ捨てが減少し、町の景観が守られる。
- ・飲み残しがごみ袋に混ざらないことで、道路の汚損や悪臭が解消され、まちの環境美化が図られる。

37

## 議題(2) 各団体の取組み等について

38

## 議題(2)-① 懇談会出欠確認時における 事前アンケート結果の紹介 (令和8年度以降) 及び意見交換

39

事前アンケート結果の紹介  
「令和8年度以降の予定や実施できそうな取組み」についての回答

### 川越町並み委員会

【R8】幸町駐車場・小林斗あん宅跡地利活用について 情報共有して頂き提案協議を行っていきたい

### 川越一番街商業協同組合

【R8】商店街内でのマナー啓発強化、引き続き各種メディアへの啓発

### 仲町商店街

【R8】各商店が相互に連携を深め、地域課題に一丸となって取り組む体制づくりへの協力  
商店街全体の結束強化を目的とした情報共有・意見交換の場づくりへの参画  
地域環境美化および来街者マナー向上に向けた継続的な取り組みの検討・実施

### イーグルバス株式会社

【R8】令和7年度に引き続き、小江戸巡回バスの車内、ホームページにて、川越市作成のマナー動画の掲載。  
社長の谷島が事務局長を務めている「英語の通じる街川越」において、ゴミ袋での持ち帰りや清掃活動を実施。

40

## 事前アンケート結果の紹介

「令和8年度以降の予定や実施できそうな取組み」についての回答

## 公益社団法人 小江戸川越観光協会

## 【R8】

- ① 夜間観光コンテンツの継続実施および定期イベント化による来訪時間分散の定着
  - ② 宵machiバル事業の対象エリア拡大および地域連携の強化
  - ③ ターゲットを明確化した広報プロモーション（SNS・交通広告等）の強化
- ※弊会事業以外：クリーンアップ委員会のごみ拾いに参加、マナー啓発に関するSNS投稿やHPへの掲載協力

## 株式会社まちづくり川越

【R8】 令和7年度のゴミ袋配布事業を継続実施予定。アンケート結果を踏まえ、周知方法の見直し等、改善を図りながら取組みを推進したい。

41

## 議題(2)：各団体の取組み等に関する意見交換

## オーバーツーリズム対策として取り組みたい3つのテーマ

①歩道の円滑化  
危険防止について
②ごみ・環境美化対策  
について

③マナー対策について

42